

学科 学年	S 3	科目 分類	工作実習[実習] Practical Training of Metal Working	実習 必修	後期 2履修単位	学習教育目 標 G,J	担当
概 要	溶接、塑性加工、旋削加工、研削加工、CAD/CAM技術について各 験的に学習し、報告書を作成する。						
科目目標 (到達目標)	もの造りの基盤技術を体験的に習得することを目的として、溶接、 、研削加工、CAD/CAM技術について基礎を修得する。						
教科書 器材等	実習時間にテーマごとに配布する。						
評価の基準と 方法	レポート40%、製品の完成度40%、実習への積極姿勢20%で評価 とする。						
関連科目	S 3 加工学						
授業計画							
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は					
第 1回		実習ガイダンス 1 学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、言					
第 2回		実習ガイダンス 2 安全教育					
第 3回		溶接・溶断(切断) 各種工具の取扱いとガス切断、ガス溶接					
第 4回		溶接・溶断(切断) アーク溶接、MIG溶接					
第 5回		塑性加工 絞り加工(角筒、円筒)					
第 6回		塑性加工 シャーシの加工					
第 7回		旋削加工 旋盤の取扱い方法、及び、その加工					
第 8回		旋削加工 ローレット加工					
第 9回		研削加工 研削盤の取扱い方法、及び、その加工					
第10回		研削加工 平面研削盤と円筒研削盤の研削面の精度					
第11回		CAD 機械部品の製図(その1)					
第12回		CAD 機械部品の製図(その2)					
第13回		マシニングセンタ 基本プログラムの説明					
第14回		マシニングセンタ 平面プレートへの2次元加工					
第15回		工場見学					
第16回							
第17回							
第18回							
第19回							
第20回							
第21回							
第22回							
第23回							
第24回							
第25回							
第26回							
第27回							
第28回							
第29回							
第30回							
オフィス アワー	大島は月、火、木、金曜日の16:30~17:15。これ以外でも教員 る。工場付き技術職員は業務に支障ない範囲で対応する。						
授業アンケートへ の対応							
備 考	実習工場付き技術職員による実際の実技教育は2時限目より開始 6班に分け、各セクションを班別指導する。1時限目は柳下教授 る。						

更新履歷	070105新規
------	----------

大島・柳下・大賀・永禮

OSHIMA, YAGISHITA,
OHGA, NAGAREI

グループに分かれて体

塑性加工、旋削加工

する。60点以上を合格

(参観できません。)

評価方法と基準、等の説明

接

室に在室時に対応でき

し、1クラス約40名を
による講義等を受講す

